

ノロウイルスの基本と対策

ノロウイルスにアルコール消毒は効きにくいいため 85℃以上の加熱や塩素消毒液が対策には有効です。感染してから症状がでるまで 1~2 日です。主な症状は、吐き気、おうと、げり、腹痛、発熱です。

手洗いは感染対策の基本です

- 塩素消毒液は手指に使用できないため、手洗いが重要です。
- 特に、食事の前、トイレの後、調理の前後は必ずよく手を洗いましょう。
- 感染している人もしていない人も、ともに手洗いを行うことが感染の広がりを抑えます。



出典：厚生労働省ホームページ (<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001503586.pdf>)

はいせつぶつ、おうと物の処理

- ウイルスは乾燥すると空気中に舞うので早めに処理しましょう。
- 感染しないようにマスク、ガウン、手袋をつけましょう。
- 使い捨てのものを使用しましょう
- 処理につかったものはビニール袋に入れ、しっかり密閉しましょう。
- 最後はしっかり手洗いをしましょう。



出典：政府広報オンライン「ノロウイルスに要注意！感染経路と予防方法は？」
(<https://www.gov-online.go.jp/article/201811/entry-7449.html>)